

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさまきず姫路広畑事業所		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		～ 2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員の人員配置を充実させている (職員の)	・子ども2人に対し1人の体制で対応出来るように意識しております。 しっかりと研修や職員会議を行い子ども達への関わり方などより良い療育が出来るよう職員間で話し合い、共通理解の元で子ども達への関わりを行っています。 ・職員一人ひとりの知識と技術の向上を図る為に外部研修も積極的に参加しております。	・今後もしっかりと事業所内外での研修を積極的に行い、職員全員が専門的な知識と技術を高め、スキルアップしていけるよう体制づくりを行っていく。
2	土曜日の活動を充実させている	・電車に乗ってお出かけや、遠方への体験学習の提供を行っています。体育館や公園等での野外活動や運動などを行い楽しみながら社会のルールを学んでもらえるように積極的に様々な経験を行ってもらえるようにしています。	・今後もさまざまな体験学習や野外活動を行い利用者の方に満足して頂けるよう継続してまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーになっていない (手すり等に関しては設置済み)	・階段が多く車いすが通るスペースはあるものの利用者を抱きかかえて室内に入ってもらっている。肢体不自由の利用者には、職員が補助をしたり手すりを使うなどしている。	・テラスを撤去し車いすのまま室内に入れるように考えてる。 ・利用者に負担がないように対応していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		おひさまきっず姫路広畑事業所					公表日	2025 年 2 月 28 日	
		利用児童数			2025 年 1 月現在 43名		回収数 30名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	6		3				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	4		8		・引き続き人員の確保に努めています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	6		10				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1		7	・見学やお迎えの時に見せてもらいましたが、綺麗で子ども達もリラックスしていました。	・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1		1		・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2		3		・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1		2		・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	5		3				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	2		1		・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	6		4	・毎回、色々なプログラムをしてもらい助かっています。	・今後も沢山の経験や体験ができるように活動プログラムを考えていきます。		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	6	2	17	・交流なくてもいいと思う。	・野外活動で地域の方との交流がございます。		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	2			・見学や契約の時に丁寧に説明してくれた。	・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	4						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	8	6	11		・ペアレント、トレーニングという名目での実施は行っていませんが、保護者の方からの相談に対して助言や指導をさせていただいています。		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	28	2			・子どもの様子を詳しく教えてくれる職員や、あれからどうですか？と聞いてくれる職員がいて有難い。	・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	8	1	1	・連絡帳や送迎の時に話を聞いてくれたり、アドバイスをもらったりと助かっている。	・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。また、助言等が出来るように職員のスキル強化に努めていきます。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	2		1		・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	7	11	11	・保護者同士の交流をしたことがないから分らない。	・ご要望によって検討をしています。		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1	1	3	・親が分からない事を客観的に見て教えてくれるのは有難い。 ・相談したことにより、それが子どもにとって良くない事だと気付くことが出来た。	・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	5		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	5	4	8		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1		4	・個人情報が増えたと聞いたことがないので、取扱い十分気を付けているのだと思う。	・職員間で個人情報取り扱いマニュアルの共通理解を図っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	8		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	6		12		・年に2回実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	3		6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	4		5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	1		1	・毎回、楽しく通所させてもらっている。 ・ペースに合わせて関わっている。	・今後も丁寧な対応を行い、より良い評価を頂けるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1			・『明日、おひさまやで』と言うと、『何するの？』とキラキラした目で聞いてきます。 ・毎回楽しんで帰ってきていると感じています。	・楽しみに来所して頂いている子ども達の為にも、立ち止まることなく沢山の体験や活動をしていただけるよう支援プログラムを考えていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	3			・連絡帳やメールでの（私からの連絡）も対応が丁寧で早く、職員さんも明るく優しいので助かります。 ・いつもありがとうございます。 ・これからもよろしくお願ひします。	・保護者様からの相談やご要望に関しては今後も迅速かつ丁寧にご対応させて頂き、また出来るだけご要望通りにご利用や療育が出来るよう対応していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おひさまきつず姫路広畑事業所				公表日	2025年2月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子ども2人に対し職員を1人の配置を心掛けている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		階段が多いため、テラスを撤去を検討。パーティションでの学習空間の確保。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々清掃を実施している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員間での目標、各留意点について会議を行う。	申し送りを徹底し、改善点への対応及び実施。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		児童発達支援管理責任者が作成し、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・利用者のサービス利用計画を基に個別支援計画を作成している。 また、計画期間内によるモニタリングの実施や相談支援事業所からの情報を得るようにしている。 ・アセスメントシートの活用。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者が職員から情報を集め、アセスメントを行い、サービス利用計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			相談支援事業所や保護者と充分にコミュニケーションを図り、ニーズに合った個別支援計画の作成や細やかな説明を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝のミーティングでの確認作業及び準備を徹底している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後、職員間での振り返りや意見交換を実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は常に徹底している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者・児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		管理者・児童発達支援管理責任者が必要に応じて対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		担当者会議等に参加している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			今後、積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にどんな様子だったのかを伝え、共有する場がある。必要に応じて、電話やメールで情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時と契約時に必要に応じて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて専門機関と連携し対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護規定を玄関に提示し職員に誓約書への捺印を実施している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年に二回職員間で確認し、避難訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書を提出して頂いている。必要に応じて、保護者様からの情報も得て対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	避難場所についてのお知らせ、警報時の対応についての文面を配布して周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		行った際に話し合い、職員会議でも周知徹底を行い再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に二回研修を行い、職員の意識向上とスキルアップを実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		年に二回研修を行い、職員の意識向上とスキルアップを実施している。保護者様には契約時に身体拘束についての説明をしています。		